



デフリンピックを応援しましょう！



前号で紹介した手話講座の折に、富山県聴覚障害者協会の方に、デフリンピックについて教えていただきました。

デフリンピック（Deaflympics）は、デフ+オリンピックのことで、聞こえない・聞こえにくいアスリートのための、4年に一度に世界的規模で行われる総合スポーツ競技大会です。夏季大会は1924年にパリで開かれて以来、100年となる節目に日本で初めて行われるのだそうです。皆さん、ご存知でしょうか？

『第25回 夏季デフリンピック競技大会 東京2025』

運営主体	国際ろう者スポーツ委員会
大会期間	2025年11月15日～26日
参加国	70～80か国・地域
参加選手数	約3,000人
競技	陸上、バレーボール、水泳等、全21競技

デフリンピックの公式ロゴマークは、手の形で「OK」「GOOD」「GREAT」を意味するサインが中央の○（「目」を表しているそうです。）を囲むように4色で連続的に重ねられているデザインです。手話では、両手でOKを作って交互に2回重ねることで表されるそうです。

デフリンピックの競技ルールはオリンピックとほぼ同じですが、特に、競技スタートの合図をランプの光で知らせたり、審判がホイッスルに加え旗や手を上げたりして「目」で補う「視覚保障」が行われます。

さて、今年の8月に熱戦が繰り広げられたパラリンピックに参加できるアスリートは視覚障害を含む身体障害者と知的障害者です。パラリンピックは、オリンピック終了後に同じ会場で行われるためか、認知度は98.2%（日本財団パラリンピック研究会による2014年調査）と高いようです。一方、デフリンピックの国内認知度は11.2%（同調査）で、デフリンピックについて知らない人が多いのが現状のようです。

大会ビジョンの一つに、「誰もが個性を活かし力を発揮できる」共生社会の実現」が掲げられています。東京大会の開催をきっかけに、デフスポーツの理解が進み、障害のある人とのコミュニケーションやバリアフリーが一層促進されることを願っています。

<引用・参考>

東京2025デフリンピック大会ポータルサイト

